

競争評価レビューの進め方について

(趣旨)

競争評価レビューについて、今後の進め方について御議論いただく。

主なポイント

1. 趣旨

現在は電力の全面自由化が始まってからまだ間もなく、競争的な市場への移行段階にある。このため、①自由化された電力市場における競争の進展状況をきめ細かく把握すること、②より競争的な電力市場の実現など、あるべき市場環境を実現するための施策の検討に必要な情報を集めること、③今後の市場の方向性について市場参加者や需要家に予見可能性を与えることを目的に、年内を目処に競争評価レビューを実施し、電力の卸売市場・小売市場における競争状況を把握することとしたい。

2. 今後の進め方

今後、制度設計専門会合において詳細についてご議論いただき、適切なタイミングで電力・ガス取引監視等委員会において改めてご議論いただくこととしたい。

まずは、①数年間にわたり効力を有する「基本方針」と、②各年度の評価対象を定める「実施細目」について先にご議論いただき、競争状況の分析における評価軸・評価基準を予め定めた上で、③年内を目処に第1回の競争レビューを実施することとしたい。①及び②、③をそれぞれ決定する際は、制度設計専門会合だけでなく、電力・ガス取引監視等委員会にも諮らせていただくこととしたい。

(基本方針)

- ・競争評価の背景、目的、基本スタンス、分析・評価の方針など、競争評価の全体像を提示。
- ・数年間にわたって効力を有し、これに従って各年度の競争評価を実施。

(実施細目)

- ・競争評価を実施するに当たり、分析・評価内容の概要を示すため、各年度に策定。
- ・分析・評価を行う対象サービス（領域）、分析・評価の視点、収集する情報等を規定。